

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	上下水道局
	政策	豊かな暮らしを支える生活環境の向上		課(室)名	下水道整備課
	施策	水の安定供給		電話番号	087-839-2771
	基本事業	持続可能な水環境の形成		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 再生水利用下水道整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	貴重な水資源の有効利用を図り、水の循環利用を推進するため、再生水利用下水道の整備を行う。昭和62年度から「下水処理水循環利用モデル事業」として事業を行い、平成6年4月より周辺公共施設等へ雑用水の供給を開始した。平成6年の大湯水を契機に、8年度に「再生水下水道事業」として国の事業採択を受け、13年4月にサンポート高松への再生水の供給を開始した。また、13年3月には、サンポート高松に南接する中心市街地（北側）14.5ha、17年3月には新たに瓦町地区4.4haについて計画区域拡大の事業認可を受け、29年3月現在、62施設（旧牟礼町6施設含む）に供給している。			
29年度概要				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象（何を）	再生水利用下水道事業計画区域
意図（どのような状態にしたいか）	再生水を利用する施設数の増加により、貴重な水資源の有効利用を図る

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
単年度送水管布設延長	m			0	0	0

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
再生水利用施設数	施設数	目標値			62	62	63
		実績値			62		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 再生水利用促進に努めることにより、水の循環利用と節水の推進を図る。 (目標達成度)			(達成度) 100.0%		35点		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)			(達成度)				

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	7,877	8,113	12,970	8,002
（事業費）	[円]	0		4,968	0
（職員人件費）	[円]	7,877	8,113	8,002	8,002

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
利用者ニーズを的確に把握しながら、現供給区域内で再生水利用水量の拡大を図ることなどにより、経営の効率化に努める。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
事業仕分けの判定結果や議会の所管事務調査の意見などを踏まえ、現供給区域内において、大口利用者などの利用者の拡大を図ることにより、既存施設の有効活用を図る。			